

表3 高山の火災年表 高山市史下巻より

①年号	②西暦	③月日	④時間	⑤焼失棟数	⑦火元	⑧被害内容	⑨救済他
慶長元年	1596	12月下旬		***	照蓮寺に放火	三町延焼、広範囲。	
享保7年	1722	9月3日		16	川原町 借家より出火	川原町	
享保14年	1729	3月8日	未下刻	975	一之町	八幡、13ヶ寺、土蔵44棟、米2,380俵。二之町下へ移り、三之町下へ焼け抜け、北より南へ三町焼け上がる。三町5軒残して全部焼失。	金千両、10年返済。米2,000俵。地役人類焼25軒に金5両宛拝借。
享保20年	1735	2月12日		50	二之新町	二之新町	
寛延元年	1748	7月3日		3	八軒町借家	八軒町	
寛延2年	1749	7月6日		1	片原町、 七夕祭りの提	片原町家1軒、屋根へ焼け抜け。	
宝暦8年	1758	5月21日	夜	5	二之町下	組頭の家、組文書燃えた。大雨のため大火にならず。	
明和3年	1766	5月29日	夜	20	縄手町借家		
天明4年	1784	3月20日 夜	夜九ツ時	2342	一之町3丁目	照蓮寺ほか11ヶ寺、三町、鉄砲町に及ぶ。勝久寺で3月に宝物弘通有り。享保14にも3月同様。被災者、6,478人。	幕府、町民へ1,807両貸し下げ。
天明7年	1787	4月16日	夜	70	八幡町地役人	大新町方面	
寛政8年	1796	7月7日	暁丑の刻	447	三之町下	天明4年の大火後建てた三町、方原町（安川以南）新家焼失。土蔵1棟。	
寛政11年	1799	6月13日		2	上切村	1棟類焼	
寛政11年	1799	1月9日		5	下新町	類焼3軒、半焼3軒。	消防の働いた者に酒の褒美出す。
寛政12年	1800	2月23日	夜四ツ過ぎ	6	灘郷桐生村	庚申堂辺り	
文化8年	1811			1	灘郷千島村	馬焼死	
文政7年	1824		丑上刻	1	灘郷桐生村	寛政12年に続いて火元のため逃亡した。	
文政12年	1829	2月晦日		11	八幡町地役人	灰置場から出火。	
文政13年	1830	10月12日		11	島川原町		極困窮者2人に御役所より手当出る。
天保3年	1832	8月19日	夜八ツ時	227	川原町木小屋	東川原町、中川原町、八軒町、西川原町。	
天保3年	1832	11月3日	夜四ツ半時	617	二之町中丁	上一から上三町、片原町。小屋木、1軒5本あて。11月7日御救小屋から、67人国分寺けいこ場へ引き移った。御役所より、御救米として正米100俵、粳181石。	小屋木700本、江名子の分で、足らなくなり、片野、石浦から調達。

①年号	②西暦	③月日	④時間	⑤焼失棟数	⑦火元	⑧被害内容	⑨救済他
天保4年	1833					天保3年の罹災者2774人に夫食米2 1 7 石6斗2升を拝借願い出した。	
天保11年	1840	8月7日		11	上川原町		消防ポンプに龍土水を使用。
嘉永2年	1849	5月26日		17	西川原町		
嘉永3年	1850	7月9日		17	下向町		
万延元年	1860	3月15日	夜12時	12	上向町		
明治5年	1872	2月14日	夜七ツ半時	721	上向町	土蔵作小屋より出火、応龍台焼失した。	古川町より玄米10俵の見舞あり。
明治6年	1873	7月12日		1か所	高山馬場通り 鎔成所	製銅場、流場焼失。	
明治6年	1873	8月21日		12	大新町		
明治8年	1875	4月24日	午前11時30分出火 午後6時5分鎮火	1, 032	二之町家屋、薪小屋より出火。 南風激しく、広範囲に延焼。	三町、別院他9ヶ寺、八幡。 下記の屋台4基焼失。 浦島台（大新町1）、牛若台（寺内）、文政台（下一之町）、舟鉾台（下二之町）。	下記、戸長より支給。 15歳以上男子、米3合 15歳以下男子、米2合 女子、米2合
明治25年	1892	12月8日	午前3時30分出火	54	一之町3丁目	2手に分かれて延焼。 二之町、一之町	火傷28名 気絶6名 井戸落ち4名
明治28年	1895	6月27日	午後9時30分	43	天性寺町		
明治38年	1905	9月8日	午前1時30分	14	二之新町裏	吉島家焼失、日下部家一部焼損。 斐太中学生徒消火手伝う。	
大正2年	1913	10月31日	午後10時30分	115	一之町2丁目	一之町1丁目、魚屋町、馬場通り、城坂通り。	
大正4年	1915	11月16日	午前1時40分	13	高山町役場前	一之町、二之町南端。	
大正6年	1917	7月7日	午前0時20分	47	七日町天の皮	七日町	
大正6年	1917	11月14日	午前5時30分	15	八幡町	八幡町	
大正11年	1922	1月14日	午前2時	1	飛驒製材(株)	工場全焼	
大正11年	1922	9月2日	午後2時	1	桐生製糸場	花里	
大正13年	1924	2月28日	午後1時20分	246	町方字天の皮	百軒町、下向町。	罹災救助基金による救助金は1, 8468円50銭。 32名は自家罹災に顧みず、警防に従事、美談。
大正15年	1926	4月2日		78	空町	空町	
大正15年	1926	5月30日		1	西尋常高等小学校	全焼	
昭和11年	1936	7月28日		48	文右衛門坂付近	文右衛門坂付近	
昭和12年	1937	8月21日		3	花里町飛驒木	工場3棟全焼	
昭和15年	1940	9月25日		1	斐太中学	寄宿舎2棟失火全焼	

①年号	②西暦	③月日	④時間	⑤焼失棟数	⑦火元	⑧被害内容	⑨救済他
昭和18年	1943	5月11日		31	七日町3丁目	七日町地内	義捐金 9,666円23 銭分配
昭和22年	1947	4月21日		40 (罹災世 帯数)	別院高山幼稚園	別院本堂、食堂、大 門、専念寺、真蓮寺全 焼、了泉寺半焼、鉄砲 町、寺内の1部に類 焼。	
昭和24年	1949	4月4日		33	桜町	罹災世帯116	
昭和26年	1951	1月20日		1	千島霊泉寺	千島霊泉寺、愛染堂は 免れた。第二中A組、 消火、人命救助、寺宝 搬出に尽力。	
昭和26年	1951	9月11日		2	七日町二丁目	七日町二丁目、5世帯 罹災。	
平成8年	1996	4月4日	午前0時 21分覚知	7	上三之町	土蔵が防火帯として機 能、扉開放土蔵焼損。	国選定伝建 地区、修理 補助助成
平成20年	2008	4月13日	午前8時 49分覚知	3	上一之町	三番叟の屋台蔵、被害 免れた。	

※掲載されている情報（文章、写真など）は、著作権法上認められた例外を除き、高山市教育委員会に無断で複製・引用・転用・転載などの利用をすることはできません。